

☆き ら り☆

令和5年2月20日(月) No.49



《めざす子ども像》

○かしこい子

○やさしい子

○元気な子

— 役に立つ喜びを知る子 —

校長：須藤 美香 Tel：0880-24-0006

2月の生活目標：衛生に気をつけて、元気に過ごそう

学校林除伐体験～6年生～

今年も学校林の整備のため除伐体験を行いました。昨年に引き続き高知県教育委員会事務局生涯学習課主催の「令和4年度森林活用指導者育成研修」と合同の活動となりました。県下にある学校林を活用するための人材育成として全4回の研修が行われているものです。最終4回目が東又小学校での研修「木の除伐体験」の授業参観及び体験となっており、児童との活動交流も兼ねています。朝霧森林倶楽部の湯浅さん、梶田さん、深谷さんのご指導の下児童と研修の皆さんが3グループに分かれて、除伐体験を行いました。6年生はこれまで間伐材で薪を作る時にのこぎりを使っていましたが、立木を実際に伐採する体験は初めてでした。初めは、細い幹を切っていた子どももだんだんと慣れてくると「この木も切っていいですか?」と大木にも挑戦をしていました。体験の際には「刃の全体を使うよ。」「この辺を切るといいね。」「場所を整えて切るよ。」「葉が多くて斜めになっているからこっちに倒れるよ。」等子ども達にたくさんアドバイスもいただきました。また、斜面での立ち方や足の置き方を丁寧に教えてくださる場面もありました。除伐体験を通して、それぞれグループでの交流もできていたように思います。除伐により日当たりも良くなり学校林の整備が進みました。



のこぎりの使い方も
上手になりました



名札を貼っているのでお互い名
前を呼び合っていました



倒木の音に驚きま
した

学校林に来ていただいた皆さんへ

◇今日は、東又小の学校林に来ていただきありがとうございました。ぼくは、いろいろ木を切って楽しかったです。樫の木はすごく固くて切るのが大変でした。ぼくは、みんながいろいろな木を切れるのかなと思ったし、みんながんばっていたのでいいと思いました。ぼくは「スギ」や「ヒノキ」の他「樫」「ウバメガシ」という名前も知りました。いろいろな木があり、その木についてしっかり知れてよかったです。また、学校林に行って除伐をしたいと思います。みなさんもまた機会があれば学校林に来てください。

(佐竹 かなと)

◇今日はお忙しい中来てくださりありがとうございました。ぼくは、除伐をして固い木もあればやわらかい木もあったけど切るのを楽しめてよかったです。ぼくは、5本以上木をのこぎりで切れてよかったです。大人の方たちと協力して木を切れたのでよかったです。でかいきりかぶのような物を大人のひとと二人で切ったけどけっこう時間がかかって大変でしたががんばって切れた時はうれしいなと思いました。最後の方に大きな樫の木を協力して切れてうれしかったです。今日は本当にありがとうございました。来年も来て6年生と活動してくださると嬉しいです。

(渡邊 あさ)

学校林の木 ➡ ビオトープへ

「学校林の木をビオトープの丸太橋の架け替えに使うことはできないでしょうか？」と朝霧森林倶楽部の湯浅さんにご相談したことが実現します。2月1日6年生が朝霧森林倶楽部さんやトピア21さんと一緒に「檜の皮はぎ」体験をしました。朝霧森林倶楽部さんには前もって檜（学校林樹齢30～40年の檜）を切って、ビオトープに運んでいただいていたいました。以前体験した雁皮の皮はぎとは全く違う皮の硬さや幹の大きさの檜ですが、道具を使いコツを掴み、根気よく給食時間を挟んで3時間ほどの作業を頑張ってくれました。現在は、ビオトープで乾かしているところです。「是非、6年生の卒業記念に橋を架けさせてあげたい。」とトピア21の太田会長さんが言ってくださり、3月8日午後、丸太橋の架け替え作業が決定しました。この日の作業には、朝霧森林倶楽部から浜田さん、梶田さん、トピア21から太田会長さん、島岡さん、西森さん、榎本さんがご協力くださいました。心より感謝申し上げます。



太田会長さん・梶田さん・浜田さん・島岡さん



皆さんのお陰で作業が終了しました



一本一本丁寧に皮をはぎました



西森さん・榎本さん

3月8日午後 丸太橋架け替え工事 6年生も一緒に行います

カンカン募金贈呈式 2月20日

本日、四万十町社会福祉協議会の戸田 晶秀様、芳野 直之様にお越しいただき、文化委員会が中心に取り組んだカンカン募金とペットボトルキャップの贈呈式を行いました。はじめに教頭先生から「社会福祉協議会とは、赤ちゃんからお年寄りまで障害のある人もない人も、みんなが幸せに過ごすためにはどのようなことをすればいいかを考えてくれるところです。」と説明があり、続いて文化委員会のかほさん、さなさん、まさゆきさんから戸田様に募金やペットボトルキャップが手渡されました。募金額は、15,450円でした。四万十町社会福祉協議会様には、日頃より総合的な学習の時間での高齢者体験や視覚聴覚障害者体験等、ご協力いただき学習を深めることができています。

募金、ペットボトルキャップ回収へのご協力に感謝申し上げます。ペットボトルキャップについては、年間通じて集めていますので、これからもよろしくお願いします。



戸田様は、本校24代（25年前）校長をされており、大変懐かしく校内を見られていました